

令和3年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市交流保養センター（大菩薩の湯）			検証日	令和4年7月8日	
	所管課担当名	観光商工課 施設管理担当		課長名	志村 裕喜	作成者名	金子 猛
	指定管理者	名称	株式会社 スポーツプラザ報徳				
		代表者	代表取締役 安藤博二				
		所在地	神奈川県小田原市堀之内458番地				
		指定期間	令和2年(2020年)4月 ~ 令和5年(2023年)3月				
	管理施設の概要	施設所在地	山梨県甲州市塩山上小田原730番地1				
		設置目的	恵まれた自然を活かし、都市と農村地域の交流を促進し、温泉資源を利用して市民の健康と福祉の増進を図るとともに、観光資源としての利用と農業振興に資するため。				
		利用者	市民、市民以外	施設管理体制	6名	開館日時間等	10:00~21:00 (土日祝日・年末年始・臨時休館を除く) ※10:00~19:00 令和3年4月1日から令和4年3月31日 定休日: 毎週火曜日、祝日の翌日
	事業概要	サービス提供の内容					
指定管理業務		(1)交流保養センターにおける事業の実施に関する事。 (2)交流保養センターの使用許可等に関する事。 (3)交流保養センターの料金の収納に関する事。 (4)交流保養センター及び付属設備の維持管理に関する事。 (5)交流保養センターに関する書類の作成及び保管に関する事。 (6)その他、交流保養センターの管理運営に関する事。					
	自主事業	(1)駐車場のライン引き (2)冬至のゆず湯を実施 (3)消防訓練の実施					

管理運営コスト推移(千円)		令和2年度 (指定期間1年目)	令和3年度 (指定期間2年目)	令和4年度 (指定期間3年目)	〇〇年度 (指定期間4年目)	〇〇年度 (指定期間5年目)
予算	指定管理料	8,682	8,682			
	利用料金収入	29,433	21,000			
	その他収入	20,300	11,243			
	管理運営経費	58,415	40,511			
決算	指定管理料	8,682	8,682			
	利用料金収入	13,151	12,793			
	その他収入	6,803	3,964			
	管理運営経費	37,061	36,929			
収支		-8,425	-11,490			
減収補填		4,212				
施設の稼働状況		令和2年度 (指定期間1年目)	令和3年度 (指定期間2年目)	令和4年度 (指定期間3年目)	〇〇年度 (指定期間4年目)	〇〇年度 (指定期間5年目)
指標	施設利用者数(人)	30,927	29,982			
活動結果		新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用客数が少なく、スタッフの負担軽減等、経費削減の観点から令和4年4月1日から令和5年3月31日まで営業時間を10:00から19:00まで(18:00で受付終了)2時間短い営業とした。令和3年5月からは空きスペースに食堂を開店して委託収入を得たが年間で19万5千円程度である。5月、10月、11月は市内利用者より市外利用者が多いが、トータルで見ると利用者は頭打ちの状況である。 また、施設管理体制では年配の従業員が多く、施設管理ので精一杯感がある。				

CHECK	評価観点	評価 (5 4 3 2 1) 高 → 低	評価の説明
	(1)事業の運営	3	・空きスペースに食堂を開店して利用者サービスの向上に努めたが、施設の利用者数の増加までには至らなかった。
(2)施設の維持管理	3	・日常点検、法定点検は着実に実行されている。また、職員研修、ミーティングは定期的に行われている。	
(3)収入支出	2	・令和2年度の収支が-8,425千円、令和3年度は-11,490千円で差し引くと-3,065千円になる。支出の燃料費を比較すると、2年度が7,272千円、3年度が10,174千円で2,902千円になる。燃料費の経費がそのまま収支に反映されている。	
(4)総合評価	総合評価の説明(施設所管課による一次評価)		
	優良 良好 妥当 要改善 不適	要改善	・新型コロナウイルス感染拡大の影響があるなか利用者は減少しているが、施設の不具合箇所も多くみられるので対応が必要である。

ACTION	評価結果に対する今後の対応	
	当面の課題	・施設管理体制の強化が必要。 ・特色のある自主事業を実施して利用者の増加を図る。
	課題解決への対応	・登山客に特化したイベントの実施とPRの実施や地元農産物の販売の強化等による魅力度アップを図る。

二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)

・仕様書及び協定書のとおり管理運営されている。
 ・空きスペースになっていた部分に食堂を開店してもらったことは営業努力として評価できるが、営業努力が集客に繋がるようにしていただきたい。
 ・コロナ禍ではあるが、スタッフの確保等を行い、集客に繋がる新たな自主事業等を積極的に行っていただきたい。
 ・世界的な原油高が影響しており、燃料費が大幅に増加していることもあって、赤字幅は増えている。引き続き、利用者の確保及び更なる経費削減に努めていただきたい。